

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	1	DIS-C-02499 (03756)	前場		04.3.25	△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-25℃ ~ +85℃			保存温度範囲		-25℃ ~ +85℃			
	電圧		AC 30 V, DC 42 V								
	電流		2 A			適合ケーブル		—			
性能											
	項目	試験方法				規格				QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。				15 mΩ以下				○	○
		— をDC — A で測定する。				— mΩ以下				—	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。				1000MΩ以上				○	○
機械的性能	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○
	コネクタの挿抜力	—の鋼製ピンで測定する。				挿抜力 — N 以上				—	—
機械的性能	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。				挿抜力 25 N以下(ロック機構を除く)				○	—
	繰返し動作	1000 回の抜き差しを行う。				単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下 — の接触抵抗: — mΩ以下				○	—
機械的性能	耐振性	周波数 10~55~10Hz/サイクル, 振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
	衝撃	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各3 回試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
機械的性能	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。				100N以下でコネクタの破損が無いこと。				○	—
	環境的	定常状態の耐湿性	温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。				①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○
機械的性能	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃ →常温 時間 30 →2~3 → 30 → 2~3 分 を5 サイクル試験する。				①絶縁抵抗: 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○	—
機械的性能	耐熱性	温度 +85 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐寒性	温度 -55 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
機械的性能	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1秒間ソルダート部へ当てる。				外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。				○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。				はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。				○	—
機械的性能	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。				コネクタ内部への浸水がないこと。				○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。				コネクタ内部より気泡の発生がないこと。				○	○
備考						製図	設計	検図	承認	出図	
						R技 03.9.22 前場	R技 03.9.22 前場	R技 03.9.22 佐藤	R技 03.9.22 吉田		
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS		ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.				製品規格表		製品名 LF07WBR-6P			
旧CL CL		図番 SLC4-113836				製品コード CL136-1001-7				1 1	